

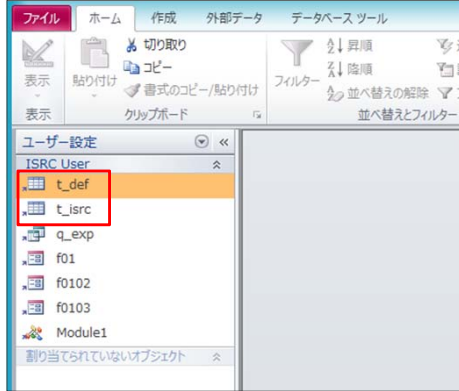
ISRC支援ツールでのデータ移行について

「Microsoft Office」バージョンアップ等により、現在ご利用頂いている『ISRC支援ツール(32bit)』から『ISRC支援ツール(64bit)』へデータを移行する際の手順を以下に記します。

1. 現在ご利用中の『ISRC支援ツール』からデータのエクスポート

◆現在ご利用中の『ISRC支援ツール』を「Shiftキー」を押しながらクリックして起動します。

【起動後のイメージ】



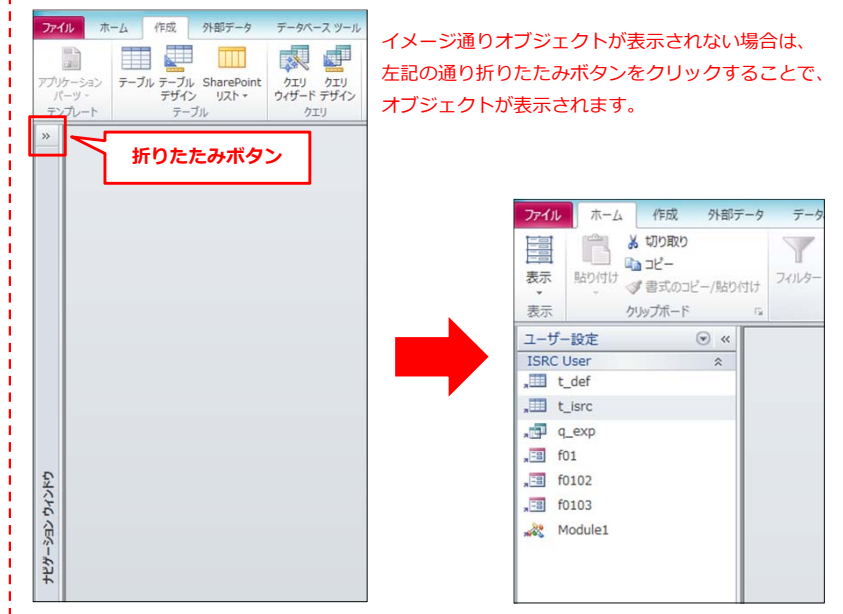
左記の通りツールの左上に各オブジェクトが表示されていることを確認します。
赤枠で囲まれたオブジェクトがエクスポートするデータとなります。

【エクスポート対象オブジェクト】

- ・ t_def
- ・ t_isrc

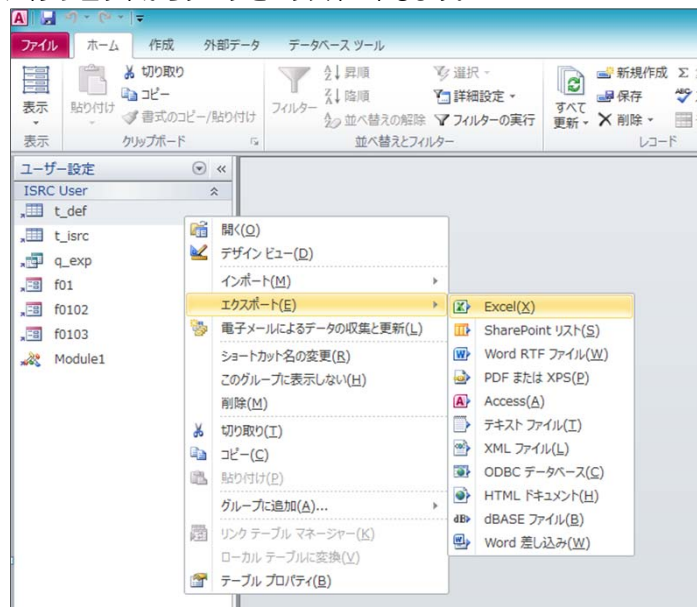
※上記それぞれのオブジェクトからデータをエクスポートし、
データ移行先の同名オブジェクトへデータをインポートします。

<イメージ通り表示されない場合>



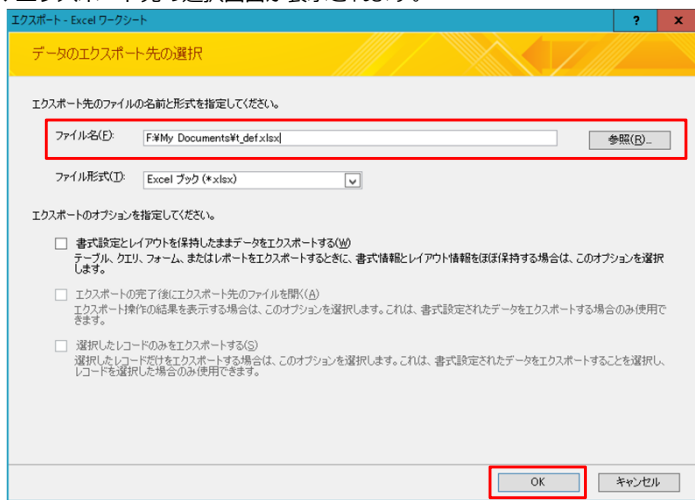
イメージ通りオブジェクトが表示されない場合は、
左記の通り折りたたみボタンをクリックすることで、
オブジェクトが表示されます。

◆オブジェクトからデータをエクスポートします。



「t_def」のアイコンを右クリックし、メニューの「エクスポート」から、エクスポートする形式を選択します。
(本手順書では「Excel」形式でエクスポートをします。)
※その他の形式でのエクスポートも可能です。

◆エクスポート先の選択画面が表示されます。



「ファイル名」から、エクスポート時の保存先を選択します。ファイル名はそのまま「OK」ボタンを押下します。
※それ以外の設定は、そのまま問題ありません。

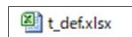
◆エクスポートの完了画面が表示されます。



「閉じる」ボタンを押下します。

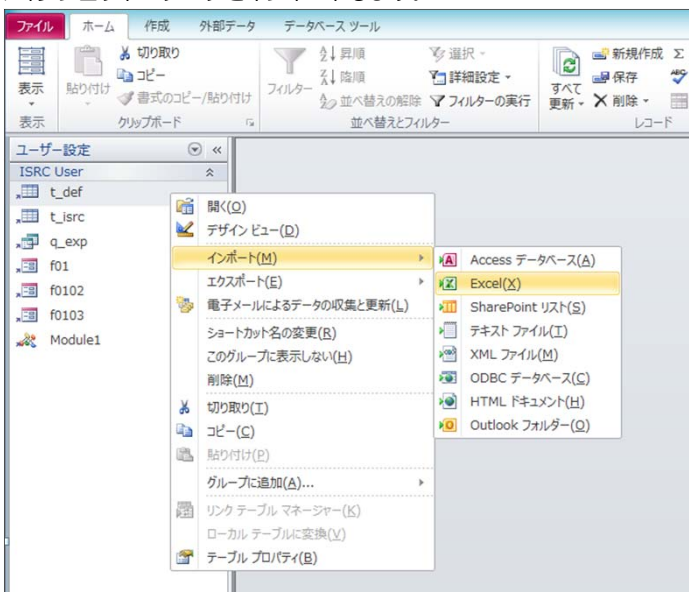
◆選択した保存先にデータファイルが作成されます。

【エクスポート後のファイルイメージ】



2. 新しくご利用する『ISRC支援ツール』ヘデータをインポート

◆オブジェクトヘデータをインポートします。

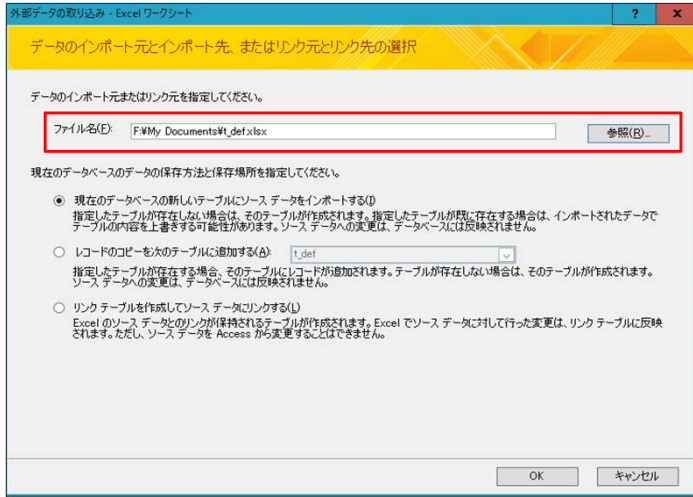


エクスポート時と同様に、「Shiftキー」を押下しながら起動し、オブジェクトを表示させ、「t_def」のアイコンを右クリックし、メニューの「インポート」からインポートするファイルの形式を選択します。

(本手順書では「Excel」形式でエクスポートをします。)

※エクスポートした時の形式に合わせてください。

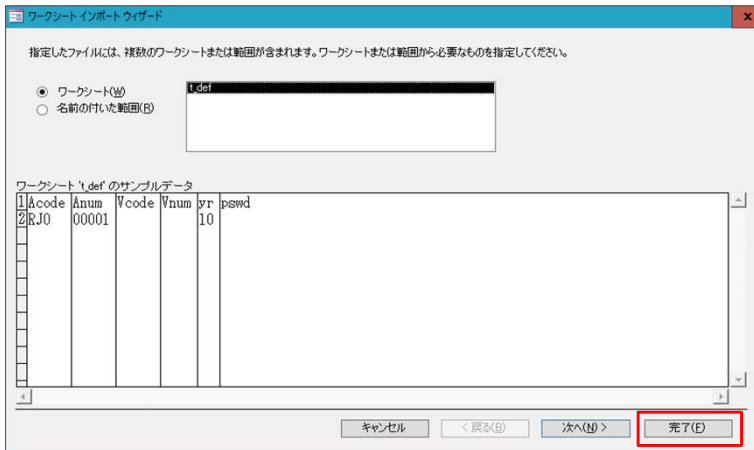
◆インポートするファイルの選択画面が表示されます。



「ファイル名」から、インポートするファイルを選択し、「OK」ボタンを押下します。

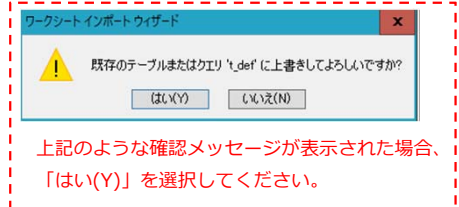
※それ以外の設定は、そのまま問題ありません。

◆インポートするファイル内のデータイメージが表示されます。



特別な設定は必要ありませんので、そのまま「完了」ボタンを押下します。

<確認メッセージが表示された場合>



上記のような確認メッセージが表示された場合、「はい(Y)」を選択してください。

◆エクスポートの完了画面が表示されます。



「閉じる」ボタンを押下します。

以上でデータの移行作業が完了となります。

「t_isrc」のデータ移行も同じ手順となります。「t_def」、「t_isrc」のデータ移行が完了しましたら、『ISRC支援ツール(64bit)』を通常通り起動すると、今まで通りご利用いただけます。

<データ移行後の注意点>

データ移行後、以下の通りオブジェクトが「割り当てられていないオブジェクト」に含まれている場合、オブジェクトを右クリックし、メニューより「グループに追加(A)」>「ISRC User」を選択してください。

